

# 茹で過ぎた マカロニの 穴

anchovy×peperoni

成人向同人誌  
For Adults Only

お く づ け

発行者 ——— 水無月十三（みなづきじゅうぞう）

発行サークル — ゲルピン

印刷所 ——— 有限会社スズトウシャドウ

発行日 ——— 2016年 8月14日

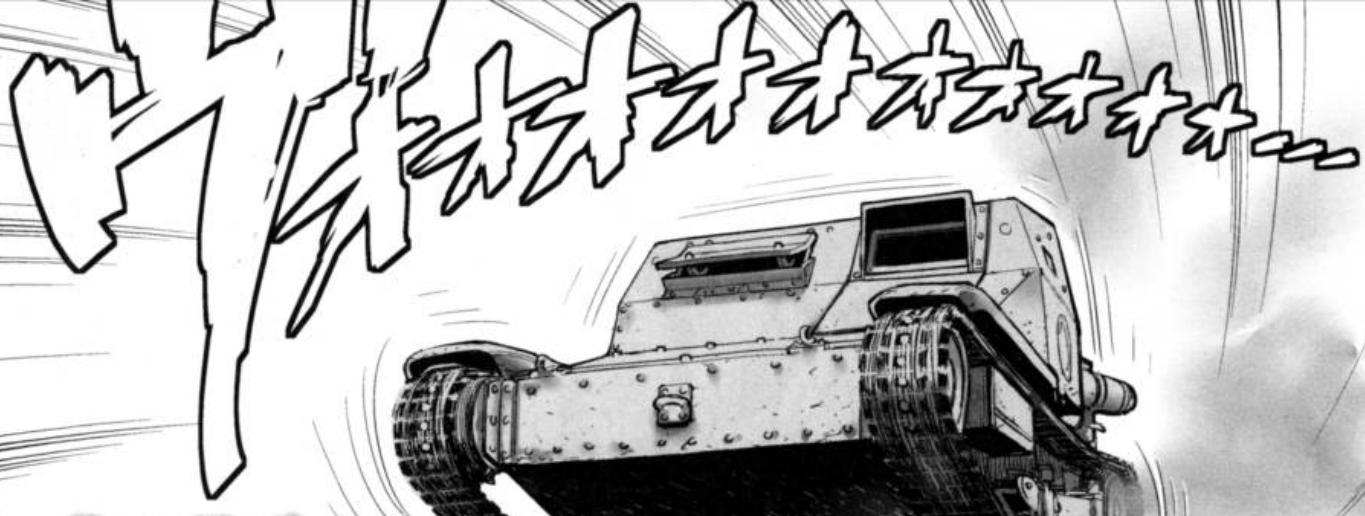
連絡先メールアドレス — minazuki@asia.interq.or.jp

BLOGアドレス — <http://geldpinch.blog36.fc2.com/>

**注意!!!**

この本は成人向けです。  
未成年の方は読むことはあろか  
所持することも出来ません。





茹で過ぎたマカロニの穴

描いた人  
水無月十三

注: このCV33は武装を取り外してあります。



いや、我がアンツイオ高校も  
今年はなんとか全国大会の  
一回戦を突破出来たのみならず



覚えてるか  
ペパロニ

お前とカルパツチョなら  
安心して後を託せるよ

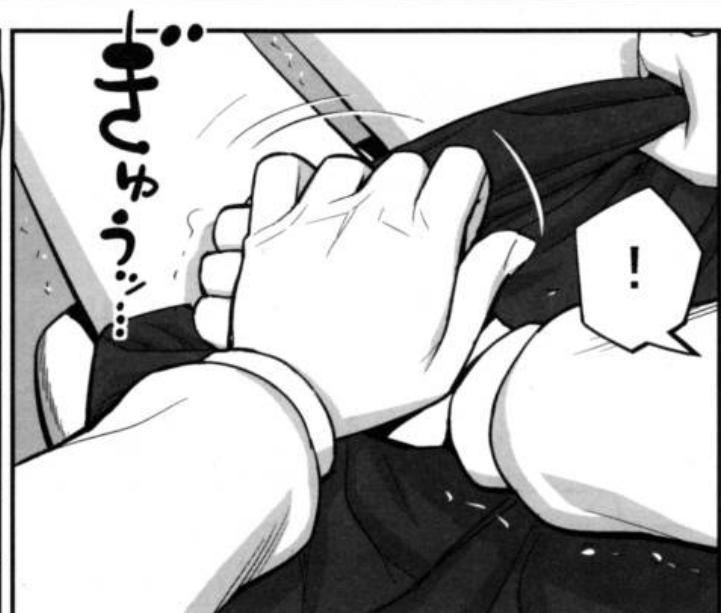
来年は二回戦突破  
いや優勝さ!!!

これで私も  
アンツイオ校戦車道復興の  
重責から開放されて  
引退できるつてものさ



あ痛ツ!!!



























気が済むまで  
イカせてやるそ





この度はこの『茹で過ぎたマカロニの穴』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます!  
感謝感激雨あられ、恐悦至極に存します~! 水無月十三でございます。

というわけで、ガルパンのアンソリオ本です。

例年なら夏のコミケ新刊は高確率でプリキュア関係になるのですが、  
今回はどうしてもガルパン本が描きたかったのです。

いや…当初の予定では「コミック1以降で夏コミより前の時期」の比較的小規模な即売会での新刊として  
この本を考えていたのですけど、諸事情により結局夏コミ合わせということになりました。

当サークル「ゲルピン」の本を毎回買って下さっている皆様であれば「あれ? フタナリじゃな  
いじゃん! しかもエロシーン少ない! 騒された! 金返せ!」と思われることでしょう。

もちろん、昨年(2015年)の末頃にガルパン劇場版を観た直後は「同人誌描くぞ! ベバロニをフタナリにして…」  
などと私も考えてはいたのですけど、5回10回と観る度にだんだんと心が浄化(笑)されたらしく、  
「あちんちんの出てこない百合物でなければダメだ…」という思いが強くなっていました。

最初に劇場版を観た時からアンソリオ組で本を作ることは心の中で決まっていました。  
それを決定づけたのは劇中での活躍っぷりもさることながら、やはりエンディングスタッフロールにて、  
CV33を積載して走るトラックの運転席に3人並び、楽しそうに歌っている姿を見たからでしょう。  
本編中にも涙腺が緩むシーンがいくつありましたけど、個人的にはあの楽しそうな3人のシーンが最も  
「ああああああ～…良い…」となったのであります。  
「私も可愛い女子高校に生まれ変わった時には、アンソリオ高校に入学して戦車道したい!」  
などとキモい妄想に耽りたくなるってものですよ。

ちなみに、当誌のタイトル『茹で過ぎたマカロニの穴』ですが、これはTwitterで見かけた  
「同人作品タイトル自動生成機」(正式名失念….)みたいなアプリを使って作ったものでして、  
キャラの名前を入力すると色々な文字列を組み合わせてテキトーな名前をでっち上げてくれるというもの。  
「アンチョビ」とか「ベバロニ」「ドゥーチェ」「カルバッヂ」などと色々入力して生成したものの、  
どれもいまいちピンとこず、最終的にアンチョビの本名である「安斎千代美」で生成されたのがこのタイトルでした。

あまりにも神懸っていたので即採用。

当初の予定通りハードふたり物だったのならばドンピシャなタイトルだったのでしょうけど、  
今回の内容ではちょっと名前負けしてますかね?(汗)

ネット上では「ベバロニ攻めでヘタレなアンチョビ受け」みたいなイラストやマンガをよく見かける気がしますけど、  
個人的にはやはりアンチョビは全てにおいてしっかり者で経験豊富(男性経験だけ無い…)  
ベバロニはヤンキーっぽい口調と行動でボイッシュな風体ながらドゥーチェLOVEで乙女心も垣間見える感じが良いかな…と。

2人の行為を隠れて見ているうちに悶々としてきたカルバッヂは、タカちゃんことカエサルの  
元に飛んでいって…という展開も考えましたけど、ページが全然足りなかったのでボツに。

ところで、私が『ガールズ&パンツァー』という作品をちゃんと認識したのは、たしか2014年の年末頃。  
それまで本編を見たことはもちろん、誰が主人公でどういう話なのかまったく知らず、  
「女の子が戦車に乗っている」ということと「秋山殿というキャラが居るらしい」という2点しか知識はありませんでした。  
そんな私がTwitterか何かでアンチョビの画像を見て「あ、なんだか主人公っぽい! きっと主人公だ!」  
と勘違いしてしまったのは無理もないこと。  
(ちょうどアンソリオのOVAが発売された頃で、アンチョビのメディア露出が多かったのが原因?)  
現在では『3分ちょっとでわかる!! ガールズ&パンツァー』を観るだけでちょっとウルッとくるくらいに成長しました。

いやあ、ガルパンって本当に良いものですね。

(予定では夏コミの前日に上京し、立川シネマの極上爆音上映を観に行くつもりなのですけど…果たして…)

おくづけ

発行者 ——— 水無月十三（みなづきじゅうそう）

発行サークル ——— ゲルピン

印刷所 ——— 有限会社スズトウシャドウ

発行日 ——— 2016年8月14日

連絡先メールアドレス ——— minazuki@asia.interq.or.jp

BLOGアドレス ——— <http://geldpinch.blog36.fc2.com/>

**注意!!**

この本は成人向けです。  
未成年の方は読むことはあらか  
所持するこども出来ません。